

はじめに

平成 14 年に、筑波大学キャンパス全体の施設計画の方針を示したマスタープラン（キャンパスリニューアル計画）が策定され、現在までに、8 年が経過している。

一方、グリーンイノベーション、ライフイノベーション、ナノテク等の分野で世界をリードする人材育成のための施設充実をはじめとする多様なニーズへの対応が必要となっている。

このため、本委員会では、世界水準の教育・研究が実現でき、高いアメニティと世界に誇れる魅力ある環境を有するキャンパスを目指すため、「土地利用計画」、「建物の計画」及び「設備の計画」を中心に改定を行うこととし、5 回にわたる議論を経て、平成 23 年 2 月の委員会でとりまとめた。